

# 「災害医療の現実」

## ～災害は会議室で起こるもんじゃない！～

「関市に災害が起きたら…」負傷者が多数発生した場合、通常の診療体制では対応できません。救急医療現場で陣頭指揮に当たるスペシャリストが災害医療現場の現実を語ります。どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。

日時 12月6日(月) 午後7時～8時30分  
(午後6時30分開場)

場所 わかくさ・プラザ  
「学習情報館・多目的ホール」

講師 小倉真治さん  
(岐阜大学大学院救急・災害医学分野教授)  
(高次救命治療センター長)



小倉真治さん

- ◆定員 350人
- ◆入場料 無料
- ◆照会先 危機管理課 ☎ 23-7736 FAX 23-7748  
市民健康課 ☎ 24-0111 FAX 23-6757

12月1日は  
「世界エイズデー」です。

照会先 関市保健センター  
☎ 240111

「世界エイズデー」にあたる12月1日には、世界規模でのエイズのまん延の防止、エイズ患者やHIV感染者に対する差別や偏見の解消を目的とし、毎年世界中でさまざまなイベントが行われています。

2007年末の時点で全世界に約320万人のHIV感染者がいると発表されています(WHO世界保健機構・UNAIDS国際合同エイズ計画)。日本人の感染者数は増加傾向です。厚生労働省エイズ動向委員会2008によると日本のHIV感染者は累計で1万人、エイズ患者は約5000人と報告されていますが、感染に気づいていない人が多数いると推測されています。

### ◎ HIVとエイズの違いは？

私たちの体には菌やカビなどから身を守る「免疫」という仕組みが備わっています。HIV(ヒト免疫不全ウイルス)はこの免疫を破壊してしまうウイルスのことです。このウイルスに感染し、免疫力が下がることさまざまな病気に感染することをエイズといえます。

### ◎ HIVに感染するとすぐにエイズを発症するの？

多くの場合は長い間(平均10年程度)自覚症状がありません。HIV感染に気づかず、エイズを発症して初めて感染に気づく人が少なくありません。

### ◎ HIVはどのようにうつるの？

HIVは精液、膣分泌液、血液、母乳から感染します。9割が性交渉により感染しています。せきやくしゃみ、握手などから感染することはありません。

### ◎ 感染しないためには？

ほとんどが性交渉により感染するため、コンドームを正しく使用することが大切です。

### ◎ HIV感染を調べるには？

全国の保健所などで検査ができます。検査は無料、匿名で受けられます。結果は直接本人に伝えられ、プライバシーは守られます。

### ◎ 「レッドリボン」という言葉を聞きますが、それは何ですか？

レッドリボンはエイズに対する理解と支援のしるしです。感染者と患者への連帯を表します。エイズは日常生活で感染することはありません。感染者と出会っても、感染を恐れることはありません。他の人と変わりなく接することが感染者に対する一番の配慮なのです。

